

令和6年度児童発達支援自己評価表(公表)

鹿嶋市総合福祉センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、改善内容など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			・活動内容によっては、同じ敷地内にある老人福祉センターを利用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			・基準通り対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			・子どもの特性に合わせて、環境調整を行っている。また、集団保育を行う部屋は、パーテーションを使い環境設定をしている。 ・個別訓練・相談については、いつも同じ部屋ではないので、教材の工夫等をしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			・毎日の消毒清掃や、定期的に館内清掃や害虫駆除を行っている。 ・定期的に、安全点検を実施し、子どもが安心して過ごせるよう整備している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDSAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			・集団保育については、その日の振り返りを午後に行っている。 ・年3回、ケース連絡会議を開催し、相談支援体制の確認、見直しを行っている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			・年1回、アンケート調査を実施し、頂いた意見については、職員間で共有・検討し、業務改善につなげている。
	⑦	事業所向けを踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			・館内掲示やホームページで公表している。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	・利用者や関係機関等からの意見を聞きながら、必要時業務の見直しを図ると共に、県指定外部評価事業所への依頼を検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			・施設内研修を実施すると共に、外部研修の機会がある時は積極的に参加をしている。 ・個別訓練・相談の相談員は、必要性に応じ、個別研修に参加している。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			・初回面接時には、遠城寺式乳幼児発達検査を取り入れ、より適切なアセスメントを行うよう努めている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			・個別訓練・相談では、必要に応じてアセスメントツールを使用している。 ・子どもの年齢や状態に合わせて、発達検査等を行っている。
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>			
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか			<input type="radio"/>	・集団保育については、係内で活動プログラムを検討、立案している。 ・個別訓練・相談では、各相談員が立案している。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			・子どもの発達課題や興味関心に配慮した活動内容で支援している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>			・集団保育については、支援開始前、職員間で支援内容の打合せを行っている。 ・個別訓練・相談については、支援開始前の打合せは行っていないが、適宜、児童発達支援管理責任者と情報共有を行っている。 ・利用者の個別ファイルで情報共有し、担当者が目を通せるようになっている。また、年3回のケース連絡会議で支援内容等の情報共有を図っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、改善内容など
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	<input type="radio"/>			・集団保育については、支援終了後、その日の支援の振り返りを行っている。また、適宜、個別ファイルの記録を確認している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			・支援の都度、保育日誌や個人ファイルに支援内容や課題、保護者からの相談内容等を記録し、各相談員が情報共有できるようにしている。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			・6カ月に一度、個別支援計画の見直しを行い、中間評価として保護者に説明している。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			
	㉒	保健センターや子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害児のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	<input type="radio"/>			・関係機関と積極的に連携をとり支援を行っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等の専門機関と連携しているか	<input type="radio"/>			・必要に応じて連携している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input type="radio"/>			・集団保育では、保育園等との交流保育や園外保育等、交流の機会を設けている。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>			・親子通所施設のため、支援場면을保護者と共有する中で、子どもの発達の状況や課題等を共有すると共に、相談対応を行っている。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	<input type="radio"/>			・ペアレント・トレーニングの資格保有者である心理相談員が、必要に応じて行っている。
保護者への説明責任等	㉛	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			・面接時に丁寧な説明を心掛けている。また、運営規定を施設内に掲示している。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>			
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			・親子通所施設のため、その都度相談が可能であり、必要な助言を行うことができる。
	㉞	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>			・集団保育では、年3回、保護者会を開催している。 ・個別訓練・相談については、保護者会等は開催していない。また、開催に関してご意見は頂いていない。今後、要望等があれば、検討していく。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			・相談や申入れがあった際は、他職員の意見も聞きながら、適切な対応ができるよう努めている。
	㊱	活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			・集団保育については、毎月、行事予定を掲載したお便りを作成し、配布をしている。
	㊲	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>			・利用申請時に、個人情報使用同意書を保護者から頂いている。また、関係機関と連絡を取り合う時は、改めて保護者に了承を得るようにしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点、改善内容など
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
非常時等の 対応	③⑨	危機管理マニュアル、不審者対応マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		・職員については、マニュアルに基づいた訓練を実施している。 ・保護者への周知については、マニュアルの掲示等の体制を整えていく。
	④①	非常災害の発生に備え、定期的に避難等必要な訓練を行っているか	○			・年2回、敷地内にある社会福祉協議会、シルバー人材センターと合同で訓練を行っている。また、集団保育については、月1回、訓練を行っている。 ・個別訓練・相談の利用者の参加形態は、今後検討していく。
	④②	事前に、服薬、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			・面接時に確認をしている。また、集団保育において子どもが単独で通所利用する際は、事前に担当者と看護師、保護者と適切な対応ができるよう打ち合わせをしている。
	④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・集団保育では、ヒヤリハットファイル作成し、係内で共有し、事故防止に努めている。
	④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止及び身体拘束等適正化に関する施設内研修を、年2回実施している。
	④⑤	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明して了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか			○	・現在、対象利用者がいないため、未実施。 ・身体拘束に限らずスピーチロックについても、配慮している。